

無垢の木の家 完成宅のご案内



北山の家

子供達をのびのびと、自然と触れ合いながら育てていきたい。

そんなご夫婦のご希望に沿って、建築家の松本直子さんに設計いただいた、美しい木の家ができました。

緑を一望できる、開放感のあふれる2階リビング。

ピクニックもできそうな、ひろびろとしたウッドデッキで楽しく過ごすことができます。

国産の無垢の木と、光を美しく反射させる珪藻土の塗り壁を基調とした、主張し過ぎない、プレーンなインテリア。

壁体内通気工法により、冬は家の周囲の熱を逃さず、夏は換気口から熱気を外へ追い出します。

合板や樹脂を極力使用せずに、木と自然素材でできた、気持ちのよい空間です。皆様ぜひご体感ください。

6月 18(金) 19(土) 20(日)

会場 京都市左京区

彩工房



ぬくもり

例えばお鍋の取っ手やお風呂の椅子。木は、熱くなりやすく、ひやとした冷たさもあります。それは、木の体積の半分以上を空気が占め、熱を伝えにくいから。たとえばスギの熱伝導率（熱の伝えやすさ）はコンクリートの約12分の1、鉄の480分の1。心地よい自然なぬくもりを感じられます。

やさしいクッション

無数の細胞の集まりである木は、物がぶつかると、適度に衝撃を吸収し、クッションのような働きをします。特に無垢材のフローリングは、硬すぎず柔らかすぎず、転倒によるけがを防ぎます。使うほどに艶や味わいが出てくることも、無垢材ならではの魅力です。

木のひみつ

乾燥・結露をふせぐ

人に最適な湿度は、ダニやウィルスが発生しにくい40～60%と言われています。木は、湿度が高いと水を吸い、逆に低いと放出し、天然の調湿機能で、お部屋の乾燥や湿気をふせぎます。水分の通らない塗装をしたり、ビニルクロスや合板で覆うと効果が減ってしまうので、土壁など、なるべく透湿性のある素材で覆うことが大切です。



壁体内通気工法「ソラリ」

冬は、基礎と越屋根の換気口を閉じ、お部屋を空気の層で包みます。逆に夏は換気口を開けることで、温度の上った壁体内の空気が上昇気流となり、熱や湿気とともに外へ放出されます。



冬 モード

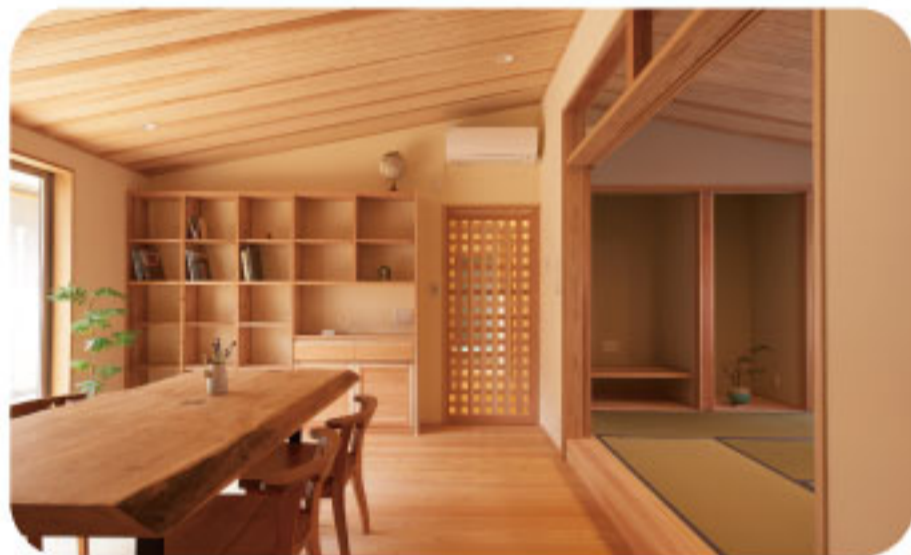
部屋中の温度差が少なく、
家じゅう自然な暖かさ。



熱がこもらず、
家じゅう自然な
涼しさ。

夏 モード

夏と冬のモード切り替えで、一年中快適な環境に。
電気に頼らないシステムなので、メンテナンスが楽なのも安心です。



*写真はイメージです。

6月 18 (金) 19 (土) 20 (日) 10:00-16:00

会場 京都市左京区

- ・お申し込み時に、ご希望の見学日時をお伝えください。
- ・30分に1組ずつのご案内となります。他のお客様と重ならないよう配慮しておりますので、時間厳守にご協力ください。
- ・お施主様のご厚意により、ご入居前のお宅を見学させていただきます。十分にご配慮いただきますようお願いいたします。



- ・お申し込み時に、詳細をご案内いたします。
- ・京都市営地下鉄「松ヶ崎駅」より徒歩9分程度です。
- ・マスクの着用および手の消毒にご協力ください。
- ・当日、体調の優れない方は、参加をご遠慮いただきますようお願いいたします。

お申込み・お問い合わせ ▶▶▶

彩工房 <http://www.saikobo.co.jp>

彩工房ホームページの申込みフォームにてお申し込みください。
6月4日(金)より受付を開始します。
参加される方全員のお名前とご連絡先、お子様の場合は年齢もご記入ください。

彩工房

info@saikobo.co.jp

tel:075-632-9889

京都市山科区四ノ宮大將軍町 15

よい
家をつくる。